
ADVANTEST®

株式会社アドバンテスト

D51103

PTI（一次群 1.5M インタフェース）モジュール

取扱説明書

MANUAL NUMBER FOJ-8335229A00

本器を安全に取り扱うための注意事項

本器の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読み下さい。また、本器の誤った使用、不適切な使用等に起因する運用結果につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。

本器の操作・保守等の作業を行う場合、誤った方法で使用すると本器の保護機能がそこなわれることがあります。常に安全に心がけてご使用頂くようお願い致します。

■危険警告ラベル

アドバンテストの製品には、特有の危険が存在する場所に危険警告ラベルが貼られています。取り扱いには十分注意して下さい。また、これらのラベルを破いたり、傷つけたりしないで下さい。また、日本国内で製品を購入し海外で使用する場合は、必要に応じて英語版の危険警告ラベルをお貼り下さい。危険警告ラベルについてのお問い合わせは、当社の最寄りの営業所までお願いします。所在地および電話番号は巻末に記載してあります。

危険警告ラベルのシグナル・ワードとその定義は、以下のとおりです。

- 危険： 死または重度の障害が差し迫っている。
- 警告： 死または重度の障害が起こる可能性がある。
- 注意： 軽度の人身障害あるいは物損が起こる可能性がある。

■基本的注意事項

火災、火傷、感電、怪我などの防止のため、以下の注意事項をお守り下さい。

- 電源電圧に応じた電源ケーブルを使用して下さい。ただし、海外で使用する場合は、それぞれの国の安全規格に適合した電源ケーブルを使用して下さい。また、電源ケーブルの上には重いものをのせないで下さい。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、電源スイッチを OFF にしてから奥までしっかり差し込んで下さい。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを OFF にしてから、電源ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いて下さい。このとき、濡れた手で抜かないで下さい。
- 電源投入前に、本器の電源電圧が供給電源電圧と一致していることを確認して下さい。
- 電源ケーブルは、保護導体端子を備えた電源コンセントに接続して下さい。保護導体端子を備えていない延長コードを使用すると、保護接地が無効になります。
- 3ピン-2ピン変換アダプタ（弊社の製品には添付していません）を使用する場合は、アダプタから出ている接地ピンをコンセントのアース端子に接続し、大地接地して下さい。また、アダプタの接地ピンの短絡に注意して下さい。
- 電源電圧に適合した規格のヒューズを使用して下さい。
- ケースを開けたままで本器を使用しないで下さい。

本器を安全に取り扱うための注意事項

- 規定の周囲環境で本器を使用して下さい。
- 製品の上に物をのせたり、製品の上から力を加えたりしないで下さい。また、花瓶や薬品などの液体の入った容器を製品のそばに置かないで下さい。
- 通気孔のある製品については、通気孔に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないで下さい。
- 台車に載せて使用する場合は、ベルト等によって落下防止を行って下さい。
- 周辺機器を接続する場合は、本器の電源を切ってから接続して下さい。





■取扱説明書中の注意表記

取扱説明書中で使用している注意事項に関するシグナル・ワードとその定義は以下のとおりです。

- 危険： 重度の人身障害（死亡や重傷）の恐れがある注意事項
警告： 人身の安全／健康に関する注意事項
注意： 製品／設備の損傷に関する注意事項または使用上の制限事項

■製品上の安全マーク

アドバンテストの製品には、以下の安全マークが付いています。

- ： 取扱い注意を示しています。人体および製品を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場所に付いています。
- ： アース記号を示しています。感電防止のため機器を使用する前に、接地が必要なフィールド・ワイヤリング端子を示しています。
- ： 高電圧危険を示しています。1000V 以上の電圧が人力または出力される場所に付いています。
- ： 感電注意を示しています。

■寿命部品の交換について

計測器に使用されている主な寿命部品は以下のとおりです。
製品の性能、機能を維持するために、寿命を目安に早めに交換して下さい。
ただし、製品の使用環境、使用頻度および保存環境により記載の寿命より交換時期が早くなる場合がありますので、ご了承下さい。
なお、ユーザによる交換はできません。交換が必要な場合は、当社または代理店へご連絡下さい。

製品ごとに個別の寿命部品を使用している場合があります。
本書、寿命部品に関する記載項を参照して下さい。

主な寿命部品と寿命

部品名称	寿命
ユニット電源	5年
ファン・モータ	5年
電解コンデンサ	5年
液晶ディスプレイ	6年
液晶ディスプレイ用バックライト	2.5年
フロッピー・ディスク・ドライブ	5年
メモリ・バックアップ用電池	5年

■ハード・ディスク搭載製品について

使用上の留意事項を以下に示します。

- 本器は、電源が入った状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えないで下さい。
ハード・ディスクの内部は、情報を記録するディスクが高速に回転しながら、情報の読み書きを行っているため、非常にデリケートです。
- 本器は、以下の条件に合う場所で使用および保管をして下さい。
 極端な温度変化のない場所
 衝撃や振動のない場所
 湿気や埃・粉塵の少ない場所
 磁石や強い磁界の発生する装置から離れた場所
- 重要なデータは、必ずバックアップを取っておいて下さい。
 取扱方法によっては、ディスク内のデータが破壊される場合があります。また、使用条件によりますが、ハード・ディスクには、その構造上、寿命があります。
 なお、消失したデータ等の保証は、いたしかねますのでご了承下さい。

■本器の廃棄時の注意

製品を廃棄する場合、有害物質は、その国の法律に従って適正に処理して下さい。

- 有害物質： (1) PCB (ポリ塩化ビフェニール)
 (2) 水銀
 (3) Ni-Cd (ニッケル-カドミウム)
 (4) その他

シアン、有機リン、六価クロムを有する物およびカドミウム、鉛、砒素を溶出する恐れのある物（半田付けの鉛は除く）

例： 蛍光管、バッテリー

■使用環境

本器は、以下の条件に合う場所に設置して下さい。

- 腐食性ガスの発生しない場所
- 直射日光の当たらない場所
- 埃の少ない場所
- 振動のない場所
- 最大高度 2000 m

本器を安全に取り扱うための注意事項

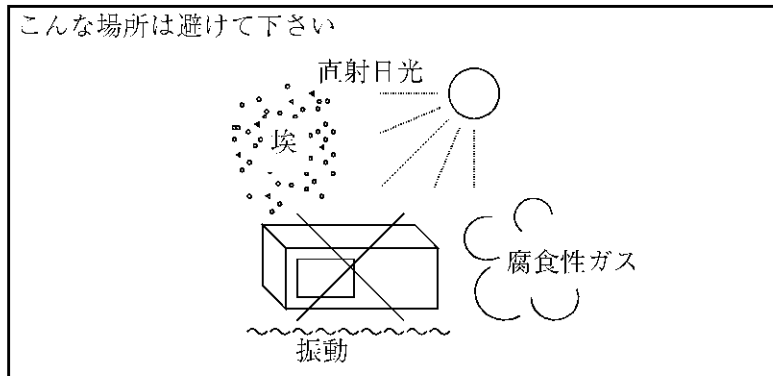


図-1 使用環境

●設置姿勢

本器は、必ず水平状態で使用して下さい。
本器は内部温度上昇をおさえるため、強制空冷用のファンを搭載しております。
ファンの吐き出し口、通気孔をふさがらないで下さい。

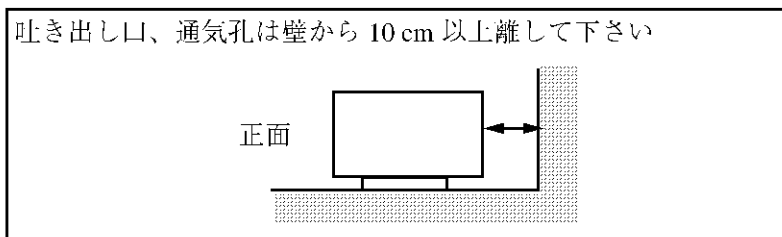


図-2 設置

●保管姿勢

本器は、なるべく水平状態で保管して下さい。
本器を立てた状態で保管する場合、または運搬時、一時的に立てた状態で置く場合、
転倒しないよう注意して下さい。衝撃・振動により転倒する恐れがあります。

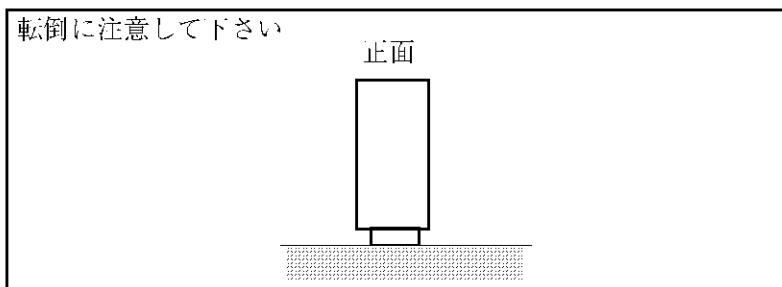
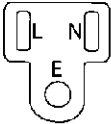
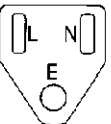
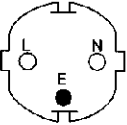
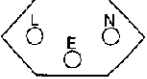

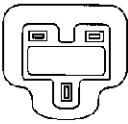
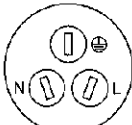


図-3 保管

- IEC61010-1 で定義される、主電源に典型的に存在する過渡過電圧および汚染度の分類は、以下のとおりです。
IEC60364-4-443 の耐インパルス（過電圧）カテゴリ II
汚染度 2

■電源ケーブルの種類

「電源ケーブルの種類」の記述が本文中にある場合には、以下の表に置き替えてお読み下さい。

プラグ	適用規格	定格・色・長さ	型名 (オプション No.)
	PSE: 日本 電気用品安全法	125V/7A 黒、2m	ストレート・タイプ A01402 アングル・タイプ A01412
	UL: アメリカ CSA: カナダ	125V/7A 黒、2m	ストレート・タイプ A01403 (オプション 95) アングル・タイプ A01413
	CEE: ヨーロッパ DEMKO: デンマーク NEMKO: ノルウェー VDE: ドイツ KEMA: オランダ CEBEC: ベルギー OVE: オーストリア FIMKO: フィンランド SEMKO: スウェーデン	250V/6A 灰、2m	ストレート・タイプ A01404 (オプション 96) アングル・タイプ A01414
	SEV: スイス	250V/6A 灰、2m	ストレート・タイプ A01405 (オプション 97) アングル・タイプ A01415
	SAA: オーストラリア ニュージーランド	250V/6A 灰、2m	ストレート・タイプ A01406 (オプション 98) アングル・タイプ ---
	BS: イギリス	250V/6A 黒、2m	ストレート・タイプ A01407 (オプション 99) アングル・タイプ A01417
	CCC: 中国	250V/10A 黒、2m	ストレート・タイプ A114009 (オプション 94) アングル・タイプ A114109

緒言

1. この取扱説明書は、D5115 の PTI (一次群 1.5M インタフェース) モジュールについて説明しています。

注 一次群 1.5M インタフェースは、

- ・ I. 431 (ISDN 一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ 1 仕様)
- ・ I. 431-a (専用線一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ 1 仕様)

に準拠しています。

2. この取扱説明書は、PTI モジュール (D51103) に標準付属品として添付されます。
D5115 取扱説明書の最後に挿入して使用して下さい。
3. 本書の構成
本書の章構成は、以下のとおりです。

1. はじめに	安全に使用するため、使用開始の前に必ずお読み下さい。
2. 回線との接続方法 3. システム・コンフィグレーション画面 4. 翻訳表示におけるレイヤ 1 情報表示 5. ステータス表示 6. モニタとシミュレーションについて 7. 性能諸元	本器の概要、接続方法および設定方法を説明します。

4. 本書内での表記ルール
本書ではキーボードのキーとメニュー項目を以下のように表記してあります。

キーボードのキーの表記: ボールド 例: **Ctrl, Shift, A, X**
メニュー項目の表記: ボールド・イタリック 例: ***OK, Exit***

キー操作

Ctrl - A: **Ctrl** を押しながら **A** を押すことを示します。

Shift - X: **Shift** を押しながら **X** を押すことを示します。

Spc: スペース・キーを示します。

目次

1.	はじめに	1-1
1.1	製品概要	1-1
1.2	付属品	1-1
1.3	ソフトウェアの制限	1-2
1.3.1	D5115 システム・バージョンの確認方法	1-2
1.3.2	D5115 システムのバージョンアップについて	1-3
1.4	寿命部品について	1-4
1.5	パネルの説明	1-5
1.6	モジュールの挿入方法	1-5
2.	回線との接続方法	2-1
2.1	ピン番号と機能	2-1
2.2	コネクタのピン番号	2-1
3.	システム・コンフィグレーション画面	3-1
4.	翻訳表示におけるレイヤ 1 情報表示	4-1
5.	ステータス表示	5-1
6.	モニタとシミュレーションについて	6-1
6.1	モニタについて	6-1
6.2	シミュレーションについて	6-1
7.	性能諸元	7-1

図一覧

図番号	名 称	ページ
1-1	D5115 システム起動時のシステム・バージョン表示	1-2
1-2	D5115 インフォメーション画面のシステム・バージョン表示	1-2
1-3	一次群 1.5M インタフェースのパネル	1-5
2-1	ピン番号	2-1
3-1	システム・コンフィグレーション画面	3-1
4-1	一次群 1.5M インタフェースのレイヤ 1 情報表示例	4-1
5-1	一次群 1.5M インタフェースのステータス表示	5-1

表一覧

表番号	名 称	ページ
1-1	標準付属品	1-1
1-2	寿命部品の一覧	1-4
2-1	ピン番号と機能	2-1
4-1	レイヤ 1 情報表示の説明	4-1
5-1	ステータス表示	5-2

1. はじめに

この章では本器の概要、付属品、パネルおよび挿入方法を説明しています。
測定を始める前に必ずお読み下さい。

1.1 製品概要

本器は D5115 マルチメディア・プロトコル・アナライザにより、I.431（ISDN 一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ 1 仕様）、I.431-a（専用線一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ 1 仕様）の回線のプロトコル解析を行うための物理インタフェースです。
回線をモニタするためには、D51120 HDLC モニタ機能モジュールが必要です。また回線をシミュレーションするためには、D51130 シミュレーション機能モジュールが必要です。

機能名	必要な機能モジュール
モニタ機能 シミュレーション機能	HDLC モニタ機能モジュール（D51120：別売） シミュレーション機能モジュール（D51130：別売）

注 一次群 1.5M インタフェースは、
 ・ I.431（ISDN 一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ 1 仕様）
 ・ I.431-a（専用線一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ 1 仕様）
 に準拠しています。

1.2 付属品

PTI モジュールの標準付属品を表 1-1 に示します。

表 1-1 標準付属品

品名	型名	数量	備考
取扱説明書	JD51103	1	
フェライトコア	DEE-003889-1	2 *1	メーカー規格名 MSFC4EX
	DEE-003890-1	2 *1	メーカー規格名 MSFC6KEX

*1: OPT51103-01 または OPT51103-01A（オプション）搭載の場合は、4 個となります。
回線におけるノイズ障害がある場合にお使いください。

1.3 ソフトウェアの制限

1.3 ソフトウェアの制限

本器の PTI モジュールを使用する場合、D5115 のシステム・バージョンが B00 以上であることが必要です。

注意 本器の PTI モジュールを D5115 に挿入する前に、D5115 のシステム・バージョンを確認して下さい。

1.3.1 D5115 システム・バージョンの確認方法

D5115 の取扱説明書「1. はじめに」を参照のうえ、D5115 を起動してください。

下記のシステム・バージョン表示を確認してください。

- (1) D5115 システム起動時のシステム・バージョン表示

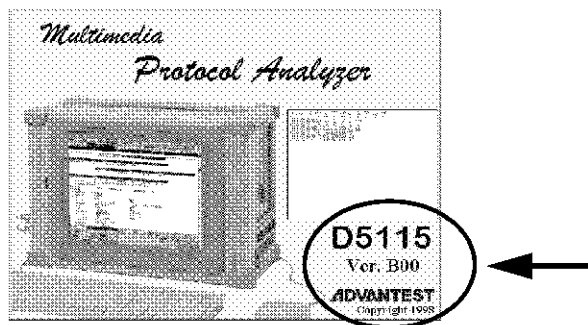


図 1-1 D5115 システム起動時のシステム・バージョン表示

- (2) D5115 インフォメーション画面のシステム・バージョン表示

MENU(F1) のインフォメーションを選択する。

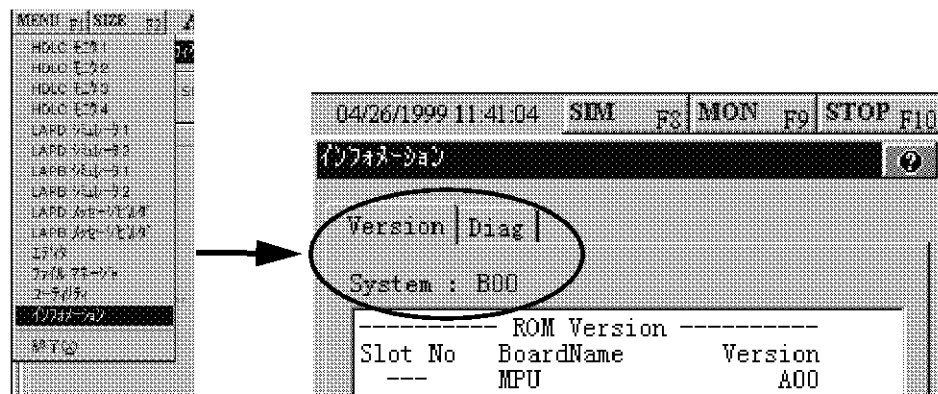


図 1-2 D5115 インフォメーション画面のシステム・バージョン表示

1.3.2 D5115 システムのバージョンアップについて

D5115 のシステム・バージョンが B00 以上でない場合、当社または代理店へお問い合わせ下さい。

1.4 寿命部品について

1.4 寿命部品について

本器は、定期的に交換が必要な部品があります。

表 1-2 寿命部品の一覧

部品名	交換の日安	内容
リレー	200000 回以上	リレーの不良により正常な回線において ・ステータス表示が SYN（フレーム同期）状態にならない。 ・HDLC モニタ表示が SYN（フレーム同期）状態にならない。 ・シミュレーションでレイヤ 1 起動状態にならない。 発生した場合は、当社または代理店へ連絡して下さい。

1.5 パネルの説明

PTI モジュールのパネルを図 1-3 に示します。

回線接続用コネクタ 1 および 2 にはコネクタが 2 つありますが、上下のコネクタの各ピンはスルーに接続されているので、ケーブルは上下どちらのコネクタに接続しても使用できます。ただし、回線接続用コネクタ 2 は通常は無効です。

注 回線接続用コネクタ 2 を有効にするには、別売の PTI (一次群 1.5M インタフェース) モジュール追加オプション (OPT51103+01 または OPT51103+01A) を本インタフェース・モジュールに追加する必要があります。

また、回線接続用コネクタ 1 または 2 有効 LED は、本器の電源を投入すると「有効であるときに点灯 (緑色)」します。

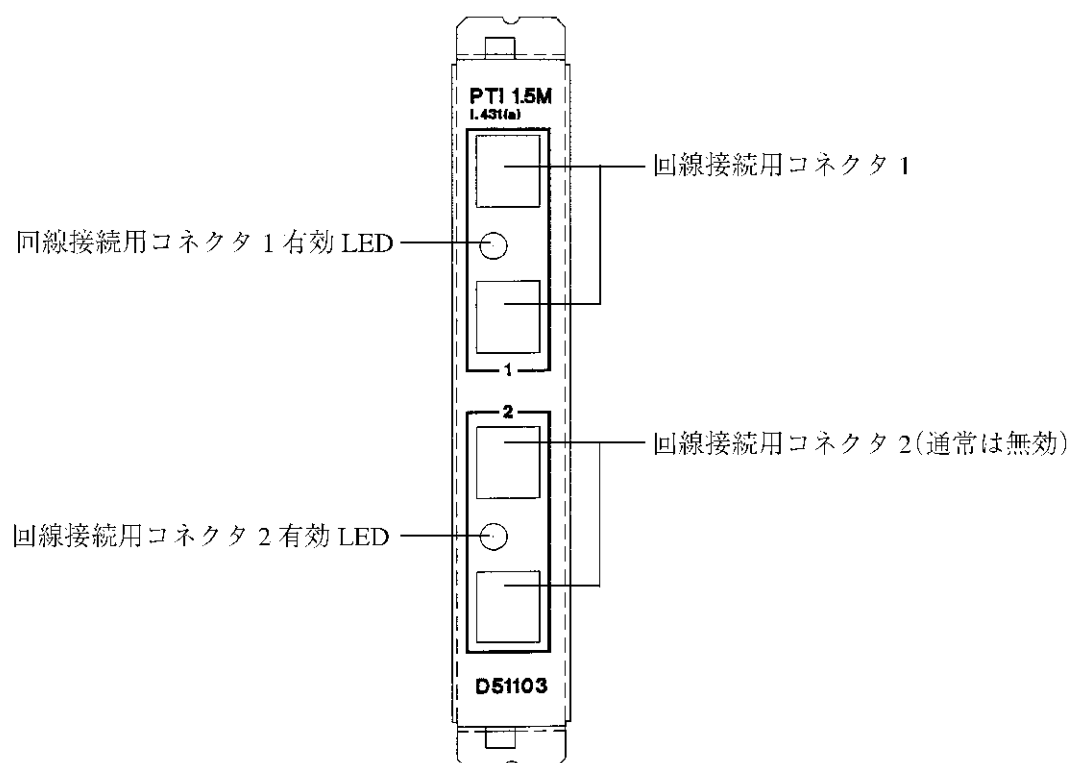


図 1-3 一次群 1.5M インタフェースのパネル

1.6 モジュールの挿入方法

本器に一次群 1.5M インタフェース・モジュールを挿入する手順は、D5115 取扱説明書の「3.2 機能モジュールとインタフェース・モジュールの挿入」を参照して下さい。

注 モジュールの挿入は、必ず電源を切った状態で行って下さい。

2. 回線との接続方法

本器の一次群 1.5M インタフェース・モジュールと被測定器の接続方法は、本器の回線接続用コネクタ 1（または 2）と被測定器をケーブルで接続します。

注 回線接続用コネクタ 2 を有効にするには、別売の PTI（一次群 1.5M インタフェース）モジュール追加オプション（OPT51103+01 または OPT51103+01A）を本インタフェース・モジュールに追加する必要があります。

2.1 ピン番号と機能

回線接続用コネクタ 1 または 2 の各コネクタの機能に対する各信号の役割を表 2-1 に示します。

表 2-1 ピン番号と機能

ピン番号	機能		
	モニタ	TE シミュレーション	NT シミュレーション
1	N.C	N.C	N.C
2	N.C	N.C	N.C
3	T 線受信 +	送信 +	受信 +
4	R 線受信 +	受信 +	送信 +
5	R 線受信 -	受信 -	送信 -
6	T 線受信 -	送信 -	受信 -
7	N.C	N.C	N.C
8	N.C	N.C	N.C

2.2 コネクタのピン番号

回線接続用コネクタ 1 または 2 のピン番号を図 2-1 に示します。

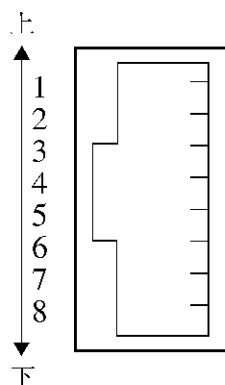


図 2-1 ピン番号

3. システム・コンフィグレーション画面

本器の起動が終了すると図 3-1 のようにシステム・コンフィグレーション画面が表示されます。このとき、一次群 1.5M インタフェース・モジュール (D51103) が搭載されているスロット・フォルダに SLOTx、PTI と表示されます。

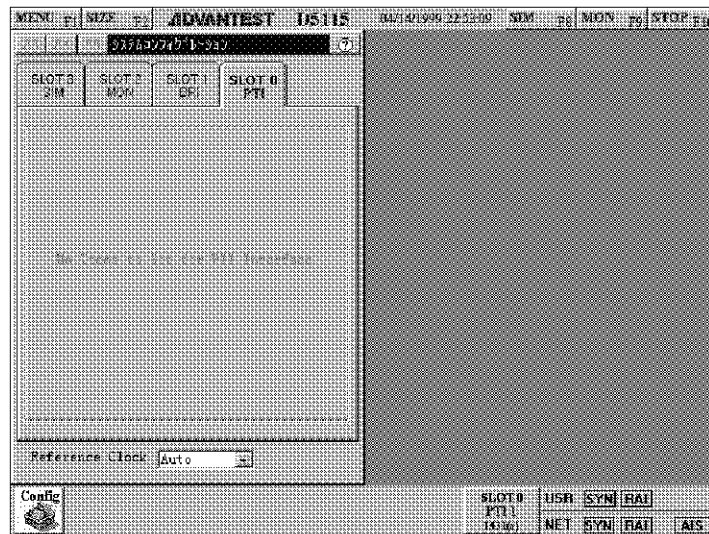


図 3-1 システム・コンフィグレーション画面

一次群 1.5M インタフェース・モジュールには、設定が必要な測定条件の項目はありません。

4. 翻訳表示におけるレイヤ 1 情報表示

一次群 1.5M インタフェース・モジュールと HDLC モニタ機能モジュールを併用することにより、一次群 1.5M インタフェース・データをモニタすると翻訳表示画面にレイヤ 1 情報を表示することができます。

NO	LEN	FRAME (USR/NET)	SAPI	TEI	CR	PF	N(R)	N(S)	ERR	TIME 04/20/1999
00000000		USR: SYN								16:05:29.699
00000001		NET: SYN								16:05:29.699
00000002	3	SABME >	0	0	C	P				16:05:29.253
00000003	3	< UA	0	0	R	F				16:05:29.256
00000004	38	I >	0	0	C		0	0		16:05:34.246
00000005	4	< RR	0	0	R		1			16:05:34.253
00000006	11	< I	0	0	C		1	0		16:05:34.258
00000007	4	RR >	0	0	R		1			16:05:34.261
00000008	8	< I	0	0	C		1	1		16:05:34.264
00000009	4	RR >	0	0	R		2			16:05:34.267
00000010	8	< I	0	0	C		1	2		16:05:34.270
00000011	4	RR >	0	0	R		3			16:05:34.273
00000012	8	I >	0	0	C		3	1		16:05:34.474
00000013	4	< RR	0	0	R		2			16:05:34.478
00000014	8	< I	0	0	C		2	3		16:05:34.482
00000015	4	RR >	0	0	R		4			16:05:34.485
00000016	8	I >	0	0	C		4	2		16:05:34.684
00000017	4	< RR	0	0	R		3			16:05:34.687
00000018	8	< I	0	0	C		3	4		16:05:34.691
00000019	4	RR >	0	0	R		5			16:05:34.695
00000020	38	I >	0	0	C		5	3		16:05:34.701
00000021	4	< RR	0	0	R		4			16:05:34.708
00000022	11	< I	0	0	C		4	5		16:05:34.712
00000023	4	RR >	0	0	R		6			16:05:34.715
00000024	8	< I	0	0	C		4	6		16:05:34.718
00000025	4	RR >	0	0	R		7			16:05:34.721

図 4-1 一次群 1.5M インタフェースのレイヤ 1 情報表示例

表 4-1 レイヤ 1 情報表示の説明

表示	説明
USR : SYN	USR 側レイヤ 1 がフレーム同期状態
USR : LOS	USR 側レイヤ 1 がフレーム非同期状態
USR : NOS	USR 側レイヤ 1 が無信号状態
USR : RAI	USR 側レイヤ 1 が RAI 状態
USR : AIS	USR 側レイヤ 1 が AIS 状態
NET : SYN	NET 側レイヤ 1 がフレーム同期状態
NET : LOS	NET 側レイヤ 1 がフレーム非同期状態
NET : NOS	NET 側レイヤ 1 が無信号状態
NET : RAI	NET 側レイヤ 1 が RAI 状態
NET : AIS	NET 側レイヤ 1 が AIS 状態

5. ステータス表示

インタフェース・モジュールを搭載すると、図 5-1 のように画面右最下段にステータス表示画面が表示されます。本器に複数のインタフェース・モジュールを搭載している場合には、**ALT-F10** を押すごとに、各インタフェースのステータスが表示されます。

NO	LEN	FRAME (USR/NET)	SAPI	TEI
00000120	38	I >	0	0
00000121	4	< RR	0	0
00000122	11	< I	0	0
00000123	4	RR >	0	0
00000124	8	< I	0	0
00000125	4	RR >	0	0
00000126	8	< I	0	0
00000127	4	RR >	0	0
00000128	8	I >	0	0
00000129	4	< RR	0	0
00000130	8	< I	0	0
00000131	4	RR >	0	0
00000108	8	< I	0	0
00000109	4	RR >	0	0
00000110	8	< I	0	0
00000111	4	RR >	0	0
00000112	8	I >	0	0
00000113	4	< RR	0	0
00000114	8	< I	0	0
00000115	4	RR >	0	0
00000116	8	I >	0	0
00000117	4	< RR	0	0
00000118	8	< I	0	0
00000119	4	RR >	0	0

図 5-1 一次群 1.5M インタフェースのステータス表示

ステータスに表示されている "SLOT0" と "PTI1" を説明します。

SLOT0: D5115 本体右側面パネルの第 0 スロット (SLOT0) に搭載されているインタフェースであることを示します。

PTI1: 一次群 1.5M インタフェース (Primary rate T1 Interface) であることを示します。このモジュールの第 1 インタフェースであることを示します。(注)

注 PTI モジュールでは 1 モジュールに複数のインタフェースを搭載することができるので、どのインタフェース (第何番目のインタフェース) であるかを示します。

5. ステータス表示

表 5-1 ステータス表示

	ステータス	反転表示時の状態
USR 側	SYN RAI	レイヤ 1 がフレーム同期状態 レイヤ 1 が RAI 状態
NET 側	SYN RAI AIS	レイヤ 1 がフレーム同期状態 レイヤ 1 が RAI 状態 レイヤ 1 が AIS 状態

6. モニタとシミュレーションについて

6.1 モニタについて

HDLC モニタ画面において、

- B1 ～ B24 チャンネルの設定により 64kbps の HDLC モニタが可能です。

HDLC モニタのシステム・コンフィグレーション画面において、

- B1 ～ B24 チャンネルの設定により音声モニタが可能です。

詳細は、「D51120 の取扱説明書」を参照してください。

6.2 シミュレーションについて

シミュレーションの宣言文の記述により、

- TE 側または NT 側のシミュレーションが可能です。

シミュレーションの関数により、

- B1 ～ B24 チャンネルの 64kbps シミュレーションが可能です。

詳細は、「D51130 の取扱説明書」を参照してください。

7. 性能諸元

(1) 仕様

- インタフェース I.431 (ISDN 一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ1仕様)
I.431-a (専用線一次群速度ユーザ・網インタフェース・レイヤ1仕様)
- 回線数 標準 1 回線
最大 2 回線 (OPT51103+01 または OPT51103+01A 装着時)
- 使用環境範囲 周囲温度: +5 ~ +40°C
相対湿度: 80% 以下
- 保存環境範囲 周囲温度: -10 ~ +60°C
相対湿度: 80% 以下
- 外形 25(W) × 158(H) × 246(D) mm
- 質量 600g 以下

(2) 機能

- 動作モード モニタ・モード
シミュレーション・モード: NT (網側) / TE (端末側)
- レイヤ1検出 SYN (フレーム同期状態)
LOS (フレーム非同期状態)
NOS (無信号状態)
RAI (RAI 状態)
AIS (AIS 状態)

索引

[D]

D5115 システムの バージョンアップについて	1-3
D5115 システム・バージョンの 確認方法	1-2

[か]

回線との接続方法	2-1
コネクタのピン番号	2-1

[さ]

システム・コンフィグレーション画面 ..	3-1
シミュレーションについて	6-1
寿命部品について	1-4
ステータス表示	5-1
性能諸元	7-1
製品概要	1-1
ソフトウェアの制限	1-2

[は]

はじめに	1-1
パネルの説明	1-5
ピン番号と機能	2-1
付属品	1-1
翻訳表示におけるレイヤ 1 情報表示	4-1

[ま]

モニタとシミュレーションについて	6-1
モニタについて	6-1

本製品に含まれるソフトウェアのご使用について

本製品に含まれるソフトウェア（以下本ソフトウェア）のご使用について以下のことにご注意下さい。

ここでいうソフトウェアには、本製品に含まれる又は共に使用されるコンピュータ・プログラム、将来弊社よりお客様に提供されることのある追加、変更、修正プログラムおよびアップデート版のコンピュータ・プログラム、ならびに本製品に関する取扱説明書等の付随資料を含みます。

使用許諾

本ソフトウェアの著作権を含む一切の権利は弊社に帰属いたします。

弊社は、本ソフトウェアを本製品上または本製品とともに使用する限りにおいて、お客様に使用を許諾するものといたします。

禁止事項

お客様は、本ソフトウェアのご使用に際し以下の事項は行わないで下さい。

- 本製品使用目的以外で使用する事
- 許可なく複製、修正、改変を行う事
- リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどを行う事

免責

お客様が、本製品を通常の用法以外の用法で使用したことにより本製品に不具合が発生した場合、およびお客様と第三者との間で著作権等に関する紛争が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

保証について

製品の保証期間は、お客様と別段の取り決めがある場合または当社が特に指定した場合を除き、製品の納入日(システム機器については検取日)から1年間といたします。保証期間中に、当社の責めに帰する製造上の欠陥により製品が故障した場合、無償で修理いたします。ただし、下記に該当する場合は、保証期間中であっても保証の対象から除外させていただきます。

- 当社が認めていない改造または修理を行った場合
- 支給品等当社指定品以外の部品を使用した場合
- 取扱説明書に記載する使用条件を超えて製品を使用した場合(定められた許容範囲を超える物理的ストレスまたは電流電圧がかかった場合など)
- 通常想定される使用環境以外で製品を使用した場合(腐食性の強いガス、塵埃の多い環境等による電気回路の腐食、部品の劣化が早められた場合など)
- 取扱説明書または各種製品マニュアルの指示事項に従わずに使用された場合
- 不注意または不当な取扱により不具合が生じた場合
- お客様のご指示に起因する場合
- 消耗品や消耗材料に基づく場合
- 火災、天変地異等の不可抗力による場合
- 日本国外に持出された場合
- 製品を使用できなかったことによる損失および逸失利益

当社の製品の保証は、本取扱説明書に記載する内容に限られるものとします。

保守に関するお問い合わせについて

長期間にわたる信頼性の保証、国家標準とのトレーサビリティを実現するためにアドバンテストでは、工場から出荷された製品の保守に対し、カスタマ・エンジニアを配置しています。

カスタマ・エンジニアは、故障などの不慮の事故は元より、製品の長期間にわたる性能の保証活動にフィールド・エンジニアとしても活動しています。

万一、動作不良などの故障が発生した場合には、当社のMS(計測器)コールセンターにご連絡下さい。

製品修理サービス

- **製品修理期間**
製品の修理サービス期間は、製品の納入後10年間とさせていただきます。
- **製品修理活動**
当社の製品に故障が発生した場合、当社に送っていただく引取り修理、または当社技術員が現地に出張しての出張修理にて対応いたします。

製品校正サービス

- **校正サービス**
ご使用中の製品に対し、品質および信頼性の維持を図ることを目的に行うもので、校正後の製品には校正ラベルを貼付けし、品質を保証いたします。
- **校正サービス活動**
校正サービス活動は、株式会社アドバンテスト カスタマサポートに送っていただく引取り校正、または当社技術員が現地に出張しての出張校正にて対応いたします。

予防保守のおすすめ

製品にはエレクトロニクス部品およびメカニカル部品の一部に寿命を考慮すべき部品を使用しているため、定期的な交換を必要とします。適正な交換期間を過ぎて使用し発生した障害に対しては、修理および性能の保証ができません場合があります。

アドバンテストでは、このようなトラブルを未然に防ぐため、予防保守が有効な手段と考え、予防保守作業を実施する体制を整えています。

各種の予防保守を定期的実施することで、製品の安定稼働を図り、不意の費用発生を防ぐため、年間保守契約による予防保守の実施をお勧めいたします。

なお、年間保守契約は、製品、使用状況および使用環境により内容が変わりますので、最寄りの弊社営業支店にお問い合わせ下さい。

ADVANTEST

<http://www.advantest.co.jp>

株式会社アドバンテスト

本社事務所
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング
TEL: 03-3214-7500 (代)

第4アカウント販売部(東日本)
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング
TEL: 0120-988-971
FAX: 0120-988-973

第4アカウント販売部(西日本)
〒564-0062 吹田市垂水町3-34-1
TEL: 0120-638-557
FAX: 0120-638-568

★計測器に関するお問い合わせ先

(製品の仕様、取扱い、修理・校正等計測器関連全般)

MS(計測器)コールセンター ☎ TEL 0120-919-570
FAX 0120-057-508

E-mail: icc@acs.advantest.co.jp